

笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS



# 議会だより

第161号

題字は岸信介先生書 2024年(令和6年)4月26日



## 春らんまん(詩情公園にて)

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 3月定例会              | 2P  |
| 1月臨時会・予算審査特別委員会    | 5P  |
| 9人の議員が町政を問う        | 8P  |
| 傍聴記                | 17P |
| 議会だより160号を読んでの感想   | 18P |
| 研修・活動報告            | 19P |
| 議会リレー随筆・発見!クイズたぶせ? | 20P |



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

ホームページの「議会だより」は、表紙がカラーとなります。

3月定例会

一般会計当初予算

72億500万円 (前年度比10・9%増)



本会議 (3月11日)

令和6年3月定例会は3月11日から12日間の日程で開かれました。本定例会では、町長提出議案の令和6年度当初予算5件、令和5年度補正予算5件、条例10件、人事1件及びその他2件並びに委員会提出議案1件及び陳情4件の合計28件を審議・審査しました。  
また、初日と翌日の本会議では、9人の議員が一般質問に登壇しました。なお、記載のQ&A(質疑&答弁)については、当初予算は予算審査特別委員会(P6)に、他の議案は所管の常任委員会に掲載しています。

町長提出議案

令和6年度当初予算

●一般会計

予算総額は72億500万円で、前年度に比べ10・9%、7億700万円の増額。

〈主な歳入〉

・町税

17億3257万円で、固定資産税の増収を見込む一方、個人・法人町民税の減収を見込み、前年度に比べ297万円の減額。

・地方交付税

22億8000万円で、地方財政計画により、前年度に比べ1億2000万円の増額。

・分担金及び負担金

2億452万円で、平生町の学校給食事務を受託することに伴い、前年度に比べ1億7460万円の増

額。

・国庫支出金

6億8038万円で、城南住宅建替事業の完了の減などにより、前年度に比べ8653万円の減額。

・県支出金

4億9833万円で、後期高齢者医療保険基盤安定負担金の増などにより、前年度に比べ1829万円の増額。

・繰入金

1億7687万円で、財政基金繰入金の増により、前年度に比べ1443万円の増額。

・町債

9億7110万円で、麻里府公民館整備事業に伴う社会教育施設整備事業債の増などにより、前年度に比べ4億7130万円の大幅な増額。

〈主な歳出〉

・総務費

9億3448万円で、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費の無償化及び麻里府公民館整備事業を教育費に組み替えたことから、前年度に比べ3469万円の減額。

・民生費

22億2271万円で、障害者自立支援に係る介護・訓練等給付費の増、児童手当の拡充、麻里府保育園空調更新事業などにより、前年度に比べ1億8822万円の増額。

・衛生費

6億8090万円で、周東環境衛生組合負担金や大平飲料水供給施設整備事業費の増などにより、前年度に比べ1億3659万円の増額。

・商工費

8979万円で、地域おこし協力隊の人員増を予定していることなどから、前年度に比べ1070万円の増額。

・土木費

6億3787万円で、豆尾第1踏切拡幅事業及び城南住宅建替事業の完了などにより、前年度に比べ3億9861万円の大幅な減額。

・消防費

3億1679万円で、県が行う防災行政無線再整備に対する負担金などにより、前年度に比べ1307万円の増額。

・教育費

14億2504万円で、平生町の学校給食事務を受託することに伴い必要な給食センター設備の更新や麻里府公民館整備事業の増などにより、前年度に比べ8億2394万円の大幅な増額。

●特別会計

○国民健康保険

17億8705万円で、療養給付費の減などにより、前年度に比べ7647万円の減額。

○介護保険

16億2464万円で、地域密着型介護サービス給付費の増などにより、前年度に比べ4490万円の増額。

○後期高齢者医療

3億8081万円で、後期高齢者医療保険料負担金の増などにより、前年度に比べ4818万円の増額。

○下水道事業

営業費用としては、田布施マンホールポンプのシーケンサー交換を6基行う予定。また、整備事業として、

中央雨水1号幹線、平田川・浜城雨水枝線の管渠整備、公共ます設置工事等を実施する予定。

令和5年度補正予算

●一般会計(第9号)

1億757万円を減額し、総額は72億9764万円。

なお、全体の収支調整等として、財政基金への積立金を3895万円増額。

〈主な歳入補正〉

・町税 2200万円増

・地方交付税 4752万円増

・国庫支出金 5079万円減

・県支出金 1948万円減

・町債 6804万円減

〈主な歳出補正〉

・総務費 3025万円増

・各事業費の減額見込み等がある一方、社会保障・税番号制度に係るシステム改修費の増や、財政基金へ積立。

・民生費 1381万円減

・国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療特別会計に

対する繰出金、保育に係る施設型給付費の減額。

・農林水産業費 1975万円減

・尾津漁港機能保全事業費の減額等。

・土木費 7622万円減

・豆尾第1踏切拡幅事業費や下水道事業会計補助金の減額等。

・災害復旧費 1014万円減

・補助事業の減額等。

おもな質疑

Q生活バス路線対策事業補助は燃料費の高騰対策で出したのか。

A5年度はコロナの補助金が多かったが、全体の赤字補填の部分が年々膨らんできているため増額した。

Q有害鳥獣捕獲の担い手も高齢化しているのでは。

Aまた、捕獲数が少ないが、豚コレラの影響が。農作物の被害の状況は。

A全体的に高齢化で、担い手不足だが、最近若い方も捕獲隊に入って活動している。

また、豚コレラが影響との話はある。農作物被害は、

営圃場整備で柵を設置しているため全体的に減っている

が、国営以外の所にイノシシが現れている。対策として、町の補助を利用し電気柵を設置して欲しい。



鳥獣防止柵

Q地域おこし協力隊員の状況は。

A5年度の4月1日から1名採用し、活動している。実は、あともう1名募集していたが、採用に至らず、という方が2名。改めて6年度予算でも新たに募集予定。



地域おこし協力隊員

Q民間宅地開発支援事業は希望者がいなかったとのことだ

が、移住・定住の観点からも大事な事業。補助金を使ってもらえるように、6年度はPRすべき。

Aホームページや宅建協会等でしっかりPRする。

Q敬老会イベント補助事業で行われた中には、商品券を配布したところもあったようだ。こういったのもありか。

Aこれまで、補助金の使い方の基準が細かく決められていなかったもので、いろんな使い方が出てきている。今後、使い方の基準を定めていく。

Q休日夜間応急診療事業は、当初予算より大きな減額となっているが、どうしてか。

A休日診療については、5年度も収入が増えたため、負担金は減額になった。この負担金はあくまで赤字の補填の意味合いがあり、診療報酬が増えれば負担金は減額になる。

Q豆尾踏切の拡張事業は、工事費のJR負担はないのか。

A町から踏切の拡幅をお願いしているため、工事費は町の負担となる。

●特別会計

○国民健康保険(第2号)

9385万円を減額し、総額は17億8527万円。

【全員賛成】

Q 保険税の主な減額要因は。  
A 被保険者の減。

○介護保険(第3号) 【全員賛成】  
総額は15億67万円を減額し、  
15億67万円を減額し、  
総額は16億596万円。

Q 現年度分特別徴収保険料が増え、現年度分普通徴収保険料が減っている要因は。

A 特別徴収から普通徴収に変わる人、またその逆があるため。

○後期高齢者医療(第2号) 【全員賛成】  
753万円を減額し、総額は3億2572万円。

Q 現年度分特別徴収保険料が増え、現年度分普通徴収保険料が減っている要因は。

A 後期高齢者の場合は、特別徴収から普通徴収に変わる場合が多いためこのようになる。

○下水道事業(第2号) 【全員賛成】  
3488万円を減額し、  
総額は10億2261万円。

Q 田布施川流域下水道維持管理負担金の減額要因は。

A 流入量を多く見積もっていたため。

条 例

○会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正  
期末手当を支給するパートタイム会計年度任用職員の対象を拡大するもの。

○督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 【全員賛成】

○国民健康保険税条例の一部改正  
県から示された次期標準保険料率を参考に税率割合の調整を行うとともに、保険料率の抑制のため基金繰入金金の活用により基礎課税額(医療給付費分)の平等割を20000円から18000円へ引き下げるもの。

○介護保険条例の一部改正  
所得段階区分については、国が標準として定める9段階が細分化され13段階に変わることとなり、第1段階から第3段階の保険料率については、国の基準割合に従い低所得者層の負担軽減を図るもの。

Q 県内の市町の状況は。

A 情報がないので、分からないが、前回、9段階のところを12段階で行っていた市町もあると聞いている。

Q 第5段階(基準額)の額が、8期の5万6000円から5万9000円に引き上げられたということか。

A 第5段階が基準になる。第1段階であればそれに0.285、第6段階であれば1.2をかけるようになる。

Q 9期は13段階のため、所得が多い人はその分払うようになるのか。

A 所得に応じて増えるようになる。

○尾津漁港管理条例の一部改正  
漁港漁場整備法の改正に伴い、条文中の文言を整理するもの。 【賛成多数】

○企業立地促進条例の一部改正  
指定事業者が新規雇用従業員を雇った場合に、奨励金を交付できるようにするもの。

Q 指定事業者の対象は。

A 企業立地奨励金をもらう業者。そこが新規採用をした場合に支払うというもの。

Q 過去に企業立地奨励金をもらっていた企業は対象にならないのか。

A ならない。

Q 新規雇用従業員40歳未満の条文は、どこにあるのか。

A 規則で示している。運用は、今から詰めていく。6年度開業すれば2年後からになる。

○のんびらんど・うましま条例の一部改正 【全員賛成】

利用料金の還付ができる利用許可の取消し又は変更の申し出期限を、利用日の14日前から3日前までに変更するもの。 【全員賛成】

○町営住宅管理条例の一部改正  
保証人をさがすことが困難な状況をふまえ、連帯保証人に関する規定を削除するもの。

Q 連帯保証人を無くすと、滞納整理が困難にならないか。どういった対応をするのか。

A 誓約書に緊急連絡先を必ず1名書いてもらうようにしている。滞納があった場合は、まず本人に連絡して、次に緊急連絡先の方に連絡する。

○外2件 【全員賛成】

○固定資産評価審査委員会  
員の任期満了に伴い、岡村誠士氏を再任するもの。

そ の 他

○財産の取得  
平生町の学校給食事務の受託に伴い、平生町の小中学校に給食を供給するための配送車を728万円で1台購入するもの。

○外1件 【全員賛成】

○「刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書」の国への提出を求める陳情書 【採 択】

○「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 【不 採 択】

○上関町での「中間貯蔵施設」の建設に反対する決議の採択をお願いする陳情書 【継続審査】

○麻里府のセンダン巨木の樹冠保護と景観保持に関する陳情 【不 採 択】

○委員会提出議案

○刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書 【全員賛成】

人 事

○固定資産評価審査委員会  
員の任期満了に伴い、岡村誠士氏を再任するもの。

◆◆◆意見書◆◆◆

田布施町議会は下記の意見書を全員賛成で採択し、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣へ提出いたしました。

刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

冤罪はあってはならない人権侵害です。そこで、有罪が確定した場合であっても再吟味する制度が、刑事訴訟法中の再審制度です。再審は、無実の人が救済される最後の砦です。冤罪は人生を破壊し、人格を否定すると同時に、法制度自体の正当性を失わせるものです。しかし、冤罪事件は、再審無罪となった免田事件、布川事件など後を絶ちません。今、袴田事件の再審は社会の注目を集めています。しかし、これらの事件で再審が認められ無罪となる過程で大きな障害がありました。これは再審法の不備が大きな原因です。第一は、警察や検察が集めた証拠を全面開示しないことです。再審請求では、無実を主張する請求人と弁護士に対して新規の明白な無罪証拠を提出することが求められます。ところが、証拠のほとんどは強制捜査権を持つ警察・検察の手にあり、しかもそれらは開示する義務はないとされ、時に無罪証拠が隠されたまま有罪が確定する時があります。再審事件で無罪証拠が最初から開示されていたら、冤罪は生まれず、当事者の人生は全く別な人生になっていたはず。「通常審」では公判前整理手続きを通じて一定の要件で証拠開示が制度化されました。しかし再審における証拠開示には、そのルールがまだありません。そのため証拠が開示されるか否かは裁判官や検察官の判断に委ねられています。これでは冤罪はなくなりません。

第二は、再審開始決定に対する検察による不服申し立て(上訴)が認められていることです。再審は2段階制度で、裁判のやり直しを求めるか否かの「再審請求審」を経て再審裁判が開始されるわけですから、検察は再審開始決定後に上訴し再審請求審をやらなくても、再審裁判で疑義の解明は可能なわけで、迅速に裁判を進めるためにも検察の不服申し立てに制限を加えるべきです。

袴田事件も袴田巖さんが87歳の今も再審裁判をたたかわざるを得ないのは、検察が証拠を隠匿し不服申し立てを行ったからです。無実の人を誤った裁判から救済するためにも、今こそ下記の点について「刑事訴訟法の再審規定(再審法)」の改正を行うことを要請します。

記

- 1 再審における検察手持ちの証拠の全面開示
2 再審開始決定に対する検察の不服申し立てに制限を加えること

・臨時議会・
1月31日

町長提出議案

令和5年度補正予算

●一般会計(第8号)

低所得者支援及び定額減税を補足する給付に必要な経費が、国の令和5年度予算の予備費に計上されたことから、経済対策として、低所得者に対する追加的な支援を実施しようとするもの。

【全員賛成】

条例

○使用料及び手数料条例の一部改正

戸籍法改正により本年3月1日から戸籍証明書等の広域交付制度が始まることを受けて、関係する発行手続きにかかる手数料について、国が定める手数料令に基づき、改正しようとするもの。

【全員賛成】

予算審査特別委員会

6年度予算(一般会計)

麻里府公民館整備 5億6,339万円
スポーツセンター整備(第1体育館) 8,477万円
学校給食無償化(単年度) 4,542万円

令和6年度一般会計予算及び各特別会計当初予算、下水道事業会計予算の審査を行うため、予算審査特別委員会が設置され、議長を除く全議員で特別委員会を構成し、3月13日に開会、活発な質疑による審査をしました。

<歳入>

Table with 4 columns: 区分, 予算額, 構成割合. Rows include 町税, 分担金・負担金, 使用料・手数料, 小計, 地方交付税, 町債, 国庫支出金, 県支出金, 小計, 合計.

<歳出>

Table with 4 columns: 区分, 予算額, 構成割合. Rows include 人件費, 扶助費, 公債費, 投資的経費(補助), 投資的経費(単独), 物件費, 維持補修費, 補助費等, 繰出金, その他, 合計.

# おもな質疑 Q&A



地震計(詩情公園近く)

◇《歳出》  
 ◇人件費・議会費・総務費  
 ◎町有地等整備工事 695万円  
 Q 町有地等整備工事の内容は。  
 A 詩情公園近くに、氣象庁が設置した地震計があり、移転する。移転費用は氣象庁。解体及び移転後の舗装は町で整備する。

◎緊急用備品購入費 89万円  
 Q AEDの3カ所更新だが、耐用年数と場所は。  
 A 耐用年数は7年。順次取り替えていく。今回は保健センターと麻郷公民館、スポーツセンター第1の3カ所を更新する。



AED(保健センター)

◎システム構築委託料 1019万円  
 Q 事業の内容は。  
 A 中学校の図書館システムが557万円。LINEシステムが462万円。  
 ◎窓口相談支援システム 13万円  
 Q 外国語の支援も可能とあるが、翻訳機能にない言語の場合、どう対応するか。  
 A 対応できない場合、職員が対応。それ以外に広島広域圏として、広島市が個別に対応

が可能。  
 Q 窓口相談のタブレットの文字を追っていくと、職員との対話が難しい。スピーカーを置いてあるが、タブレットとの併用をお願いしたい。  
 A そういった方もおられるので、スピーカーも併用する。  
 ◎ふるさと寄附金関連 2462万円  
 Q 経費率が50%を超えているが、どのように考えるか。  
 A 4年度50%を上回ったが、5年度の決算等で下回ることを見込んでいる。  
 ◇民生費・衛生費  
 ◎子ども家庭総合支援拠点 設置運営費負担金 278万円  
 Q この事業所はどこにあり、どういった支援をするのか。  
 A 平生町の旧老人福祉センターを活用している。社会福祉法人はるかに一部委託して、ゆうなんこども家庭支援センターのポコアポコを開設。育児に対する悩みの相談や、子どもを遊ばせることもできる。全ての子どもとその家庭及び妊産婦の支援を行っている。



ゆうなんこども家庭支援センター(平生町)

◎敬老イベント補助事業 189万円  
 Q 5年度より大きく減額しているのはなぜか。  
 A 実績が少なかった。広報等で募集し増やしていきたい。



敬老イベント(川西)

◎がん検診の実施 1375万円  
 Q がん検診は低い受診率で推移している。本町の目標と国の目標がかけ離れている。

るようだ。がん検診の広報、例えば事業者と協力を進めたり、しっかりと取り組んで欲しい。  
 A 6年度は、肺がん検診無料化を考えている。町内企業との連携も今後考えていきたい。  
 ◎予防接種委託料 4792万円  
 Q 他市町では、予防接種の中に带状疱疹の予防接種が含まれるところも多くなってきた。計画はないか。  
 A 計上の予定はないが、近隣の状況も見て判断する。  
 ◇労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費  
 ◎機構集積協力金事業 550万円  
 Q 事業の内容は。  
 A 農地の集積を一番の目標に、担い手の集積率が上がっていけば地域に対してお金が支払われるという仕組み。  
 ◎イチジクワイン振興事業 10万円  
 Q 事業の内容は。  
 A 2年ごと10万円をJAのイチジク部会に補助している。2年に一度商品を作っている。



田布施いちじくわいん

◎民有林造林事業

保育 146万円  
造林 54万円

◎事業の内容は。

Q 森林所有者が自身の山の管理を森林組合に委託し、国の事業等を使って保育、造林などの施業を行う事業。保育は草刈りや間伐等で植えた木を育てていくもので、造林は生育した木を切り、新たに植林を行う施業。  
◎地域おこし協力隊派遣 委託料 480万円

Q コンビ芸人が、田布施町と平生町に分かれて住み、それぞれの地域で活動する。吉本の芸人を募集ということだが、この経緯は。  
A 全国的にも、2町またいで活動は珍しく、話題にもなる。平生町からオフア1があり、地域を元気にす

るために、コンビニでパワーが2倍になるとも考えられるので、予算化した。  
◎空店舗等活用事業 100万円

◎事業の内容は。

Q 過去に補助金を受けていない建物を活用し、事業を始める方への補助。店舗に限らず、住宅の空家を事業活用しても補助対象とする。  
◎津波高潮ハザードマップ作成業務委託料 1082万円

◎麻里府の海岸は、防潮堤

が出来ていないところがあるが、ハザードマップ作成時は、そのような状況を考慮するのか。  
A 今回のハザードマップの更新は、県が現在の防潮堤のデータで考え得る、最悪の高潮の高さを想定した数値データを作成し、それを基に町でハザードマップを作成する。



田布施町津波・高潮ハザードマップ

◎遊具点検業務委託料 65万円

Q 遊具点検の公園は何カ所あるか。  
A 27カ所の公園を点検する予定。



田布施近隣公園遊具

◇消防費・教育費・公債費・予備費

◎中学校部活動地域移行総括コーディネート配置 230万円

Q 7年度までは会計年度任用職員で対応するとある。引き続き平日移行もあり、一貫性をもつため同じ人がする必要があると思うがどうか。  
A 部活動の地域移行総括コーディネートは、国県のガイドライン指針に沿って、改革推進期間の7年度までは少なくともお任せしたい。それ以降については進捗状

況を見ながら必要に応じて対応する。  
◎町史編纂支援業務委託料 824万円

Q 5年度補正予算では220万円減額。6年度は824万円。この要因は何か。また何部作成するのか。  
A 3年度から6年度までの継続事業で総額1529万円の減少で220万円の減額。6年度は作業量が増えるため、増額している。発行数は300部。



平成2年発行の田布施町史

◎田布施体育協会

140万円

Q 6年4月のロードレースは中止ということだが、今後の準備のため予算を20万円増額している。健康馬拉ソンなど色々な選択肢があるのではないか。

A 7年開催を見通し、すでに関係者と協議している。コース、駐車場、スタート及びゴール地点等、懸念事項を解決し、開催するための協議をしている。



田布施川桜まつりロードレース大会

Q 奨学金条例の趣旨から、ふるさと寄附金を活用し、卒業後、帰郷者には貸与から給付に。  
A 教育関連は多様な使途があり、検討する。

◎町民税

Q 個人は930万円程度、法人も1040万円程度減っている。この要因は。  
A 基本的に個人は、予算を立てるときには前年度の当初課税の金額に見込みを勘案し計上。企業は、業績や設備投資により左右されるので、毎回波がある。



### 3月定例会 一般質問

# 9人の議員が町政の課題を問う

#### 一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問うものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

## 生活応援商品券の配布

### 今後またあるのか

河内 賀寿

現在のところ考えていない 東 町長



河内 賀寿 議員

**Q** 昨年末、田布施町生活応援商品券5000円分の配布が全家庭にあった。年末の5000円券は、町民に好評だったはず。物価高騰はまだまだ続きそうだ。国の方針次第かもしれないが、町独自案での生活応援商品券などの配布予定など、今後またあるのか。

**A** 町独自の地域支援対策として「田布施町生活応援商品券配布事業2023」を実施。配布事業2023の使用率98・20%、7034万8千円の経済効果があった。新たな商品券の追加配布は、現在のところ考えていない。物価高騰は依然続いており、経済状況や国・県の動向を見て検討はする。



生活応援商品券2023

## 田布施町スポーツセンタープール

### 安全に不備はないか

河内

不備はないと考える 鳥枝 教育長

**Q** 町内各小学校のプール授業を、今年度から段階的に田布施町スポーツセンタープールに統一すること。十分考慮されていると思うが、低学年児童への水深の安全や設備に不備はないか。現在のプールは、今後防火用水や駐車場となるのか、まだ未定なのか等質問する。

**A** 現在のスポーツセンタープールは、低学年児童にとって水深が深く、対策として、水深を浅くして安全に水泳指導できるように、プールフロアを購入して活用する計画に入っている。その他の設備については、現時点では不備はないと考えている。小学校プールの今後の活用については、現在未定。



田布施町スポーツセンタープール

## 原爆の日・終戦記念日

### サイレン吹鳴しては

河内

個人としては実施したい 町長

**Q** 8月6日、広島に原爆、9日に長崎にも原爆投下、15日に終戦と、昭和20年戦争末期に数多くの犠牲があった日。このことは忘れてはいけない。本町以外の周辺自治体のほとんどは、犠牲者のご冥福を祈り、投下時間や終戦の日正午にサイレン吹鳴を実施している。本町も平和を祈り吹鳴しては。

**A** 核兵器廃絶、戦没者の追悼、世界平和を祈ることは日本国民として大事なことです。15日の「全国戦没者追悼式の趣旨等の周知について」のお願い文書も政府から届いている。黙とうに併せたサイレン吹鳴は、本町では行わなかったが、個人としては実施したい。今後、色々な方の意見を聞き検討したい。

### 6年度教育方針

## 子どもたちに生きる力を

西本 篤史

### 知・徳・体の調和を重視

鳥枝教育長



西本 篤史 議員

**Q** 教育というと学校教育での学習指導を思い浮かべるが、社会教育の地域との関わりを通じて環境・防災教育など生きる力を育む取組をしてはどうか。ユネスコは、スマートフォンが学習活動を妨げる可能性があるかと警告している。町のデジタル推進教育の今後の取組はどのようなか。

**A** 全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現する「令和の日本型学校教育」を推進し、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育んでいく。児童生徒、保護者及び教職員を対象とした情報モラルに関する学習や各種研修を通して、指導・啓発に努める。



町子連の馬島探検

### 中山間地域農業農村総合整備事業

## 棚田の活用方針は

西本

### 事業計画を地域で作成する 東町長

**Q** 農村振興環境整備事業の地域要件の中の「指定棚田地域」は田布施町にあり該当するのではないか。田布施町棚田地域振興協議会（町内10カ所の棚田）の活動計画があるが、この事業を活用するのか。棚田における水路の更新、担い手の確保、直売所など、どのような計画で進めるのか。

**A** 本町は、棚田地域振興法の規定に基づき令和2年5月に指定棚田地域に指定された。都市型地域の旧麻郷村と都市計画用途区域以外においては取り組むことが可能になった。事業に取り組むには、要件等もあるが、中山間地域農業農村総合計画を作成する必要がある。



大波野上段地区の棚田

### 少子化問題

## 自治体による婚活支援を

西本

### 本町と平生町で2回開催予定

町長

**Q** 町の出生数は何人であったか。山口県は自治体の婚活支援をはじめた。「やまぐち結婚応縁センター」でAIマッチングシステムと婚活イベントを行っている。企業も「福利厚生」で婚活支援を行っている。田布施町の来年度計画で自治体婚活支援はどのようにされるのか。

**A** 本町の令和5年度の出生数は50人程度と見込まれる。山口県では「やまぐち結婚応縁センター」を拠点に、マッチングサポートや婚活イベント等を行っている。柳井地区広域行政連絡協議会により婚活イベントを持ち回りで開催、令和6年度は、本町と平生町とで2回開催する予定。



やまぐち結婚応縁センターのHP

地域防災

取組を問う

各地域での災害を想定し対応

東町長

高月 義夫

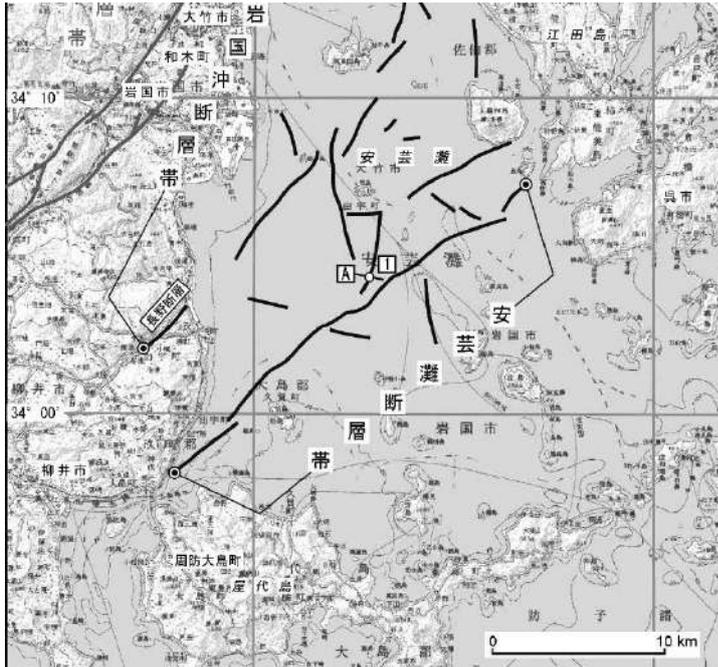


高月 義夫 議員

なり、6年度は津波被害想定地区の避難訓練や、災害弱者の対応など、しつかり取組む。

Q 住宅の耐震化は、住む人の安全や近隣住民のスムーズな避難にも重要。近隣では、最も危険なSランクの安芸灘断層帯がある。田布施町住宅耐震化緊急促進アクションプログラムが制定されている。住宅耐震化の取組や、5年度一部地域で実施の避難訓練を、全町に拡大などの考えは。

A 今回の能登半島地震での死亡原因のほとんどが建物倒壊による圧死との報道を目にする。住宅の耐震化は非常に大切。町内における建築物の耐震化の重要性を啓発。各地域それぞれ想定される被害が異



平成28年7月1日地震調査研究推進本部

地域公共交通計画案

具体的施策は

高月

地域公共交通会議で協議

町長

Q 田布施町地域公共交通計画案が示された。内容は、今の交通へのアンケート調査結果と、各交通機関の実態調査だ。具体的施策が見えない。特に交通弱者である障がい者や小さいお子様連れ、妊婦さんへの具体的支援がない。案とはいえ、すべての町民が等しく利用できる交通網の構築を。

A 本町における地域公共交通は利用者数が減少し、地域公共交通の維持に自治体も補助金等により支援している。具体的には、3月末の田布施町地域公共交通会議の中で協議し、検討する。交通弱者、特に障がい者、小さな子連れや妊婦などの記述がなかった。しつかりと配慮していく。

パブリックコメント

ルール策定は

高月

実施要項策定する

町長

Q 5年6月一般質問し、パブリックコメントのルール策定や庁舎玄関に案内の設置など取組むとのことだったが、今回3つのパブリックコメントの閲覧場所や募集期間など、それぞれバラバラであった。以前質問し改善するといわれたことについて、どのように対応されたか問う。

A 以前改善すると申し上げ、課長会議を通じ、パブリックコメントの統一的な実施要項の策定や、余裕を持ったスケジュール化など指示しているが、出来ていなかったことをお詫び申し上げ、今後しっかりと取り組む。現在庁舎1階を改修中で、その間に閲覧場所を確保したい。

### 田布施農工再編統合

## 駅・学校周辺の整備を

瀬石 公夫

### 駅舎建て替えと併せて検討

東 町長



瀬石 公夫 議員

**Q** 駅のトイレの改修、プラットホームと電車乗降口の段差改修は、駅舎をコンパクトにして建て替える計画があるので、バリアフリー化についてもJRと協議する。駅周辺の駐車場は候補地を検討し、早く整備したい。踏切から農工までの拡張は住居家屋があり具体的計画は持っていない。

**Q** 県立高校再編統合計画が正式に決まった。熊毛南は廃止される。卒業生は大変寂しい思いであるが、現実を受け止めざるを得ない。田布施農工には柳井商工の工業と熊毛北の家庭が移るため、生徒数は増えると思われる。駅周辺の環境整備、防犯対策や学校前の町道の拡張が必要では。



田布施農工前の町道



拡張された豆尾第一踏切

### 公共下水道事業

## 進んでいない今後の計画は

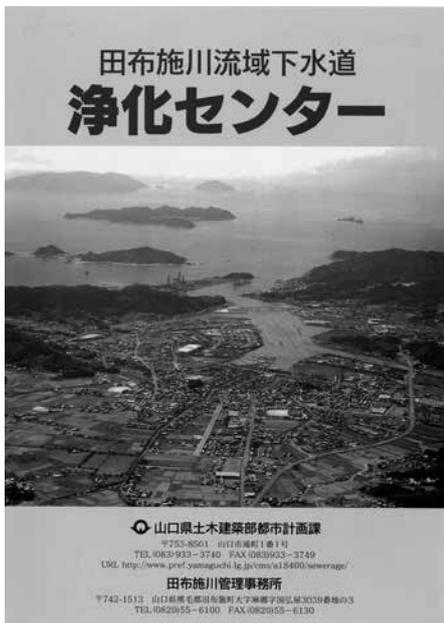
瀬石

### 費用対効果を考慮

町長

**Q** 公共下水道は、水質保全のため、なくてはならないものである。しかし、一向に下水道整備が進んでいない。これからのように進めるのか。平均的な家庭での、下水道の年間使用料、合併浄化槽の年間維持管理費はいくら位か。年間経費に差があるなら住民に不公平感が生じるのでは。

**A** 公共下水道と合併浄化槽の設置に係る費用を比較して事業を進めるようになる。下水道の年間使用料は契約者平均で約4万3千円と、下水道を整備した地域には下水道受益者負担金がかかる。合併浄化槽の維持管理費は5人槽で6万7870円となっている。



出典：山口県都市計画課田布施川管理事務所

有事に

# 福祉避難所は機能するか

内山 昌晃

平時から備えていく

東 町長



内山 昌晃 議員

設等の専門人材との連携必要。平時から情報共有と連携を深めていく。

**Q** 先の能登半島地震では要配慮者を受け入れる福祉避難所の開設が困難であったと聞く。本町でも同様の災害発生時に避難所を開設、運営できるか。  
①避難所、要配慮者数と調整は②運営マニュアルの作成有無③必要な物資・機材の確保④看護師等の人材確保⑤医療機関、福祉施設等との連携。

**A** ①福祉避難所6カ所、要配慮者38名、調整はせず一般避難所と一体で②今後作成③一定程度備蓄、電源は確保④看護師1名、保健師8名、社会福祉士2名の町職員⑤医療機関、介護施設、障害者福祉施

### 福祉避難所の基準

災害対策基本法施行規則

(令第二十六条の六の内閣府令で定める基準)

第一条の九 令第二十六条の六内閣府令で定める基準は、次のとおりとする。

- 一 高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（以下この条において「要配慮者」という。）の円滑な利用を確保するための措置が講じられていること。
- 二 災害が発生した場合において要配慮者が相談し、又は助言その他の支援を受けることができる体制が整備されること。
- 三 災害が発生した場合において主として要配慮者を滞在させるために必要な居室が可能な限り確保させること。

### 要配慮者、福祉避難所とは

災害対策基本法施行令（指定避難所の基準）

第二十六条の六 法第四十九条の七第一項の政令で定める基準は、次のとおりとする。

- 一 避難のための立退きを行った居住等又は被災者（次号及び次条において「被災者等という。」）を滞在させるために必要かつ適切な規模であること。
- 二 速やかに、被災者等を受け入れ、又は生活関連物資を被災者等に配布することが可能な構造又は設備を有するものであること。
- 三 想定される災害による影響が比較的少ない場所にあるものであること。
- 四 車輛その他の運搬手段による輸送が比較的安易な場所にあるものであること。
- 五 主として高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（以下この号において「要配慮者」という。）を滞在させることが想定されるものにあつては、要配慮者の円滑な利用の確保、要配慮者が相談し、又は助言その他の支援を受けることができる体制の整備その他の要配慮者の良好な生活環境の確保に資する事項について内閣府に定める基準に適合するものであること。

## 財源不足

歳入を増やすためには 内山

知名度を上げ増収を図る 町長

**Q** 6年度予算編成時、当初5億円の財源不足であったと聞く。歳入を増やすためには自主財源の確保が必要。町税は有効な施策を実施し増収を図るべき。町税以外の税外収入について今後の方向性、更なる増収策は①分担金、負担金②使用料、手数料③財産収入④寄附金⑤その他（過疎債）

### 過疎地域について

過疎地域に指定されると充当率が100%、普通交付税措置70%の地方債である過疎対策事業債、いわゆる過疎債を活用することができ、指定を受けられない自治体に比べ、建設事業等を実施するにあたり有利な財政運営を行うことができる。

過疎地域に指定された自治体と少しだけ基準に達せず指定されなかった自治体とで財政運営上の格差が生じている。

(町長答弁より)

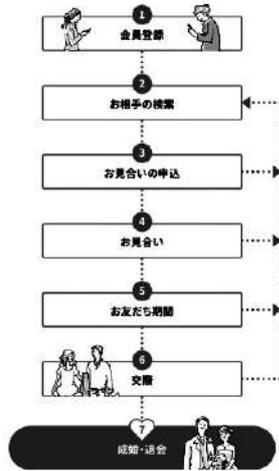
**A** ①平生町の学校給食事務を受託し大幅な増②増減なし③旧縫製センター跡地売却を目指す④ふるさと寄附金は4千万円を目指す。知名度を上げる個人的な返礼品の開發や情報発信を行う⑤本町は過疎地域指定なし。指定されると有利な財源。全国の未指定自治体と連絡会議に参加し国へ要望。

やまぐち結婚応援センターの概要

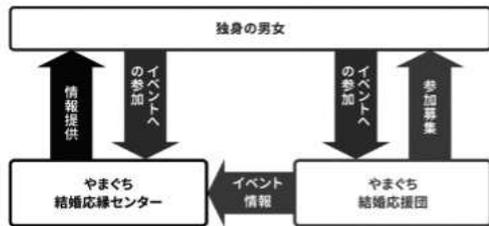
当センターは、山口県が設置する、独身者の出会いと結婚のサポート拠点です。

(1) やまぐち結婚応援センターの運営

当センターは、県内4か所に窓口を設置し、登録会員に対しお引き合わせ、交際、成婚に至るまで、きめ細かなフォローを行います。



(2) 結婚支援イベントの開催・支援



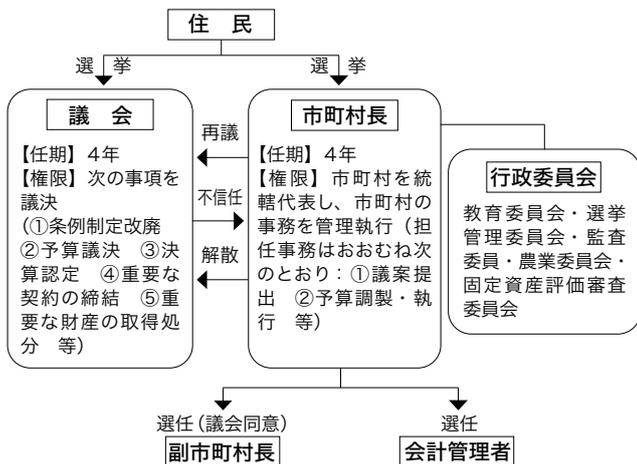
(3) 社会全体での結婚支援の機運醸成



出典：山口県、やまぐち結婚応援センター

議会のあり方と議会の関係について

- 議会は、憲法第93条第1項の「議事機関」として置かれる。
- 地方自治法においては、都道府県・市区町村等の団体の別、又はその団体の規模を問わず、一つの制度として定められている。
- 議会は、地方公共団体の意思を決定する機能及び執行機関を監視する機能を担うものとして、同じく住民から直接選挙された長（執行機関）と相互にけん制し合うことにより、地方自治の適正な運営を期することとされている。



出典：総務省ホームページ



落合 祥二 議員

結婚を応援しては

落合 祥二

本町の人口減少

東 町長

Q 厚労省は2023年の全国の人口動態統計の速報値を公表した。年間出生数は75・8万人と、8年連続で減り過去最少となった。婚姻数も48・9万組で90年ぶりに50万組を割った。

そこで、尋ねる。

① 本町の人口の推移

② 結婚の応援

A ① 国勢調査人口のピークは1985年の16740人。2010年は15986人。2020年は14483人。このままでは、推計で2025年に13266人、2050年に8918人になるといわれている。

② やまぐち結婚応援センター等にてできる範囲で協力する。

二元代表制をどう考える

落 合

町長と議会の関係

町 長

Q 国は議院内閣制だが地方自治体は首長と議会議員をともに住民が直接選挙で選ぶという二元代表制をとっている。

町長と議会が相互の抑制と均衡及び緊張関係を保ちながら対等の立場で運営の基本的な方針を決定し、政策提案を通して政策形成の舞台となる。町長はどう考えるか。

A 首長と議会は、それぞれの異なる特性を活かして、町民の意思を町政に的確に反映させるために競い合い、協力しながら、町としての最良の意思決定を導く共通の使命が課せられている。

首長と議会は互いに抑制と均衡を図りながら、ともに自治体を運営する。

投票率のアップ策

町議選では選挙公報の発行を

國本 悦郎

選管でしつかり協議

岩本選挙管理委員長



國本 悦郎 議員

い④広報活動を増やしたが、今後の取組は協議⑤郵便の不在者投票の対象者は居るが、申請は0名⑥前日までの配布を含め、選管で協議する。

| 投票日       | 投票率    |
|-----------|--------|
| 2003.4.27 | 75%    |
| 2005.2.27 | 71.2%  |
| 2009.2.8  | 65.43% |
| 2013.2.3  | 65.01% |
| 2017.2.5  | 56.19% |
| 2021.2.7  | 57.94% |

田布施町議会選挙投票率の推移

Q ①衆議選での投票時間短縮の影響は②投票時間の削減による経済的効果は③若年層の低投票率を引き上げる妙案は④投票時間の削減後、投票率アップのための新たな取組は⑤障がい者が投票できる合理的配慮を⑥来年の町議選では移住者が候補者を見比べて投票できる選挙公報の発行を。

A ①投票率が7.8ポイント下落②時間外手当が削減したが、立会人の報酬額は同額③二十歳の集いで選挙啓発、農工での新しい取組は協議した

嵐山町選挙公報発行条例 平成10年3月6日

(選挙公報の配布)

第5条 選挙公報は、町の委員会が当該選挙に用いるべき選挙人名簿に登録された者の属する各世帯に対して、選挙の期日の前日までに配布するものとする。

2 町の委員会は、前項の各世帯に選挙公報を配布することが困難であると認められる特別の事情があるときは、あらかじめ、埼玉県選挙管理委員会に届け出て、選挙公報につき、同項の規定により配布すべき日までに新聞折込みその他これに準ずる方法による配布を行うことによって、同項の規定による配布に代えることができる。この場合においては、町の委員会は、町役場その他適当な場所に選挙公報を備え置く等当該方法による選挙公報の配布を補完する措置を講ずることにより、選挙人が選挙公報を容易に入手することができるよう努めなければならない。

嵐山町 HP より取得

部活動の地域移行

地域連携か地域移行か 國本

広域での部活動も模索 鳥枝教育長

Q ①部活動の地域の移行は地域連携か、地域移行か②スポーツ・文化を問わず地域の受皿づくりを③多様な子どもニーズにこたえる形での移行も④指導者のスポーツコーチ資格取得には公費負担を⑤ハラズメント研修の義務化を⑥文化活動では従前通り学校施設の使用可を。

A ①近隣市町と連携した広域での部活動も模索②運営主体や実施主体の在り方の結論を出すまでには至らず③将来に渡り継続して親しむ場を提供④指導員資格は取得すべきとのガイドラインがあるので検討⑤研修は不可欠で、受講を促す⑥スポーツ運動関係を含め、必要に応じて学校開放。

地域移行により、様々な効果が期待されます！



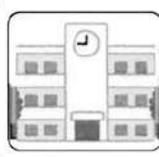
生徒

- ・ 存続が厳しくなった活動を継続
- ・ 地域の生徒や多世代交流を通して、人格形成に寄与
- ・ 多様な活動ができる環境を整備し、「体験格差」を解消



地域社会

- ・ 多世代交流による、新たなコミュニティづくり
- ・ 活力ある環境構築による、絆の強い地域づくり
- ・ 地域の子どもたちが、将来的に地域で活躍するなどの好循環



学校

- ・ 学校全体の業務軽減につながり、教材研究など本来の業務時間の確保ができ、学校教育の質が向上

山口県教育委員会のパンフレットより



田布施農工通学路（豆尾踏切）



松田 規久夫 議員

### JRや関係機関と協議

東 町長

## 活性化は有人駅で実現を

松田 規久夫

### 田布施駅の再開発

**Q** 田布施農工生徒の通学路安全確保のため、道路拡幅整備が望まれる。無人駅は活性化の逆バイアスが働いている。郵便局を田布施駅に誘致する提案をしたい。金融機関やコンビニを含め検討を。駅有人化と切符販売などJR業務の委託化を。利便性向上と地域活性化の手段となる。

**A** 郵便局や金融機関、コンビニを含めた駅再開発の提案で、他地域では実現しているケースもある。駅再開発はJRが今後計画する駅の改修計画と関連して、駅または駅の隣接地等を活用し地域活性化の取組ができないか、情報等も十分収集する中でJRや関係機関と協議していく。

### 名倉・長田町営住宅

## 建設中止の決断を

松 田

長寿命化計画で一旦延期する

町 長

### 急激な人口減少

## 人口はゼロに向かっている

松 田

子育ての基盤整備を構築する 町 長  
男女平等の意識を高める 鳥枝教育長

**Q** 移民を考慮に入れなければ、日本の人口はゼロに向かつて減少している。①田布施町の少子化対策はどのように実施され、何が足りなかったのか。②十分な効果を発揮するために必要なことは。③価値観、つまり学校教育は少子化対策の大きなポイント。教育と個人の価値観については。

**A** ①柳井広域でのマッチングイベントの開催や子育て支援。少子化の要因に晩婚化や未婚化があり、結婚や子育てに対する価値観の多様化も影響。②若い世代が安心して子育てができる基盤整備を構築する。③男女が共に対等で社会参画できるよう、幼少期から男女平等の意識を高める。

**Q** 城南住宅入居者は児童数確保に繋がった。学校存続と若い世代の転入による地域の活性化の目的が達成できた。子育て世帯的を絞った町営住宅は成功例だろう。社会、経済状況から判断すれば、名倉長田の単なる建替え計画は財政負担増、民需圧迫に繋がる。建設計画中止の決断を。

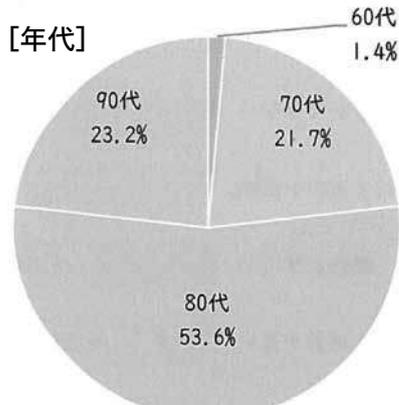
城南住宅の建替事業同様に、地域及び住宅事情を考慮して、単身高齢者用住宅等、目的を絞った町営住宅建築を合わせて検討したい。

**A** 名倉、長田住宅の建替事業については一旦延期し、町営住宅等長寿命化計画の見直し後、議会と十分協議し計画に沿って進めていく。また、

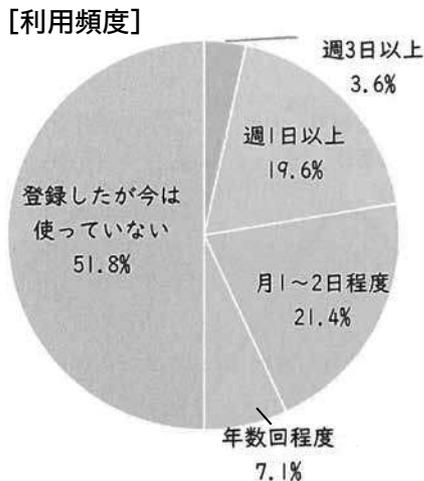


城南町営住宅キッズルーム

### 買い物送迎サービスアンケート結果



(回答人数 69人)



(回答人数 58人)



神田 栄治 議員

**Q** 昨年3月から送りの便を2便にし、利用客が増加した。利用客アンケートでは、便数が少ない、時間が読めない、事前予約が面倒などの意見が多い。次の改善はできないか。

①送迎車両を2台に②事業主体をタクシー会社に③月曜から金曜まで同一時間帯、迎え送りととも2便に

**A** 今年度は「地域公共交通計画」を策定している。この中で提案のあった改善策について、概ね実施する方向で検討しているが、協議会での最終協議がこれからのなので、終了後に新たな運行方法等について説明させていただく。

### 大幅改善を実施予定

東 町長

### 更なる充実を

神田 栄治

### 買い物送迎サービス

田布施町津波ハザードマップ



田布施町津波ハザードマップ

**Q** 準備状況を尋ねる。①避難場所の事前周知状況②避難所の収容人員と定員オーバー時の対応③避難所運営時の町職員、自主防災組織構成員各自の役割確認の有無④ペットの避難場所の確保⑤地震対策用品の事前購入の町民への働きかけ⑥机上防災訓練実施予定⑦水道管の耐震化の状況

**A** ①麻里府地域では自治会毎に決めている。麻里地域では、避難訓練実施②現状34カ所での収容人数6190人の拡大を検討③避難所運営を地域住民が担う体制が未確立④ペットの同行避難はこれから検討⑤広報に掲載⑥昨年度と今年度実施。6年度中の開催予定はない⑦5.4%

### 継続して対策を講じる

町長

### 南海トラフ地震対策は

神田

### 安心・安全な町づくり



3月定例会  
「直面する課題」に熱い論戦  
3人の方に傍聴記をいただきました。

### ◆初めての傍聴

中野 昌子

傍聴した日は東日本大震災が発生した日で、14時46分に議事堂の全員が黙とうしました。

一般質問で、政府の地震調査委員会の発表によれば、今後30年以内の地震発生率が最も高いSラ

ンクの活断層が全国に31カ所あり、うち8つが最上級の警戒レベルで、その一つが広島県から山口県沖合に伸びる「安芸灘断層帯」だと発言され、身近な地震は南海トラフ地震だけではないと驚き

ました。初めて傍聴して、議員と町長の熱心な議論に触れることができました。皆さんも傍聴されてみてはいかがでしょうか。

### ◆議会傍聴をして

山口 綾子

傍聴記を書くことになり、議会一般質問通告表を見て重複する質問もありましたが、昨年町の新生児誕生は51人と知り、高齢化が一段と進んだとの思いをしました。

「買い物送迎サービスの充実を」との質問があり、高齢化が進む町で利便性の良い公共交通計画を進めて、是非実現させて頂ければとの思いです。町の玄関口である田布施

駅の再開発についての質問がありました。若い人の定住促進に繋がればとの気持ちです。全国的に少子高齢化は待ったなしです。田布施町が活気ある町になれる事を願っています。

### ◆議会傍聴のすすめ

藤本 毅

令和6年第2回定例会は、婦人会の皆様の参加もあり、傍聴席は満席となりました。しかし、通常は10名足らずです。定例会では、議員の方が町のビジョンや身近な問題等、様々な観点から建設

的な意見や質問をされ、町長や担当課長の答弁により、我が町の実情を詳しく聞くことが出来る良い機会です。町民の皆様、学生さんも是非お気軽に傍聴にお越し下さい。議会だよりには、次回の

定例会の日程（予定）の記載もありますので、カレンダーにメモしていただき、是非とも議場に足をお運び下さい。ご一緒に傍聴いたしましょう。

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

#### 6月定例会の日程(予定)

|     |           |
|-----|-----------|
| 11日 | 本会議 (初日)  |
| 12日 | 本会議 (2日目) |
| 13日 | 経済厚生委員会   |
| 17日 | 総務文教委員会   |
| 19日 | 本会議 (最終日) |

※いずれも午前9時から。

一般質問は11日、12日に行う予定です。定例会の正式な日程は、6月6日の議会運営委員会で決定されます。日程の変更は、町HPでお知らせします。

【問合せ先】

議会事務局

☎52-5800

# 議会だより160号と読んで

## ◇生活を支える政策

鶴谷 純一

食料品の値上げや電気代・ガソリン代などのエネルギー価格の高騰が今年になっても相変わらず続いていて、一昨年の地域応援商品券に続き、昨年の町民一人5千円の生活応援商品券の配布も大変ありがたく、町民だけでなく町内の小規模事業者にとっても非常に有効で、田布施町の経済の活性化につながるとても良い政策だと思いました。

12月定例会の一般質問で、人口問題についての質問が複数ありました。田布施町でも人口が減少に転じていて、特に麻里府地域では、子どもの人数が減って、高齢化率が50%を超えるなど、少子高齢化が加速していて、活力が無くなつてきているように感じます。来年度の町の予算を、少しでも少子高齢化対策や人口減少対策に割いていただき、地域に活力が戻ってほしいとこころです。

## ◇もっと町政を知る

田中 清美

日頃から関心の高い一般質問の質疑応答は特に念入りに読みました。所々にあった疑問や、もっと深く知りたい箇所はネットで検索することで内容がある程度詳細にすることもできました。それでもまだ不明な箇所があり、議会議事録がネットに掲載されるのを待つて解決することができました。

今回の議会だよりをきっかけに、町政の様々な支援対策や取り組みに驚かされました。あとは、いかに町内外の人に知ってもらえるかが課題なのだと感じました。紙面の都合で1ページに各議員の質疑応答を載せることは、内容を大きく省略しないと納まらないと理解でき、その作業は大変なことだと思います。今後は議会だよりで興味をもった項目については、ネットや議事録で調べて、町民として町政についての知識を深めたいと思います。

## ◇子育て支援とは？

榎松 かおり

今回複数の議員の方が、子どもへの教育、優先的な少子化対策、子どもを核としたまちづくりを、といった一般質問をされていきました。

実際に未就学児から高校生までの子どもを育てている世代として、最近よく耳にするのが「相談をするところがない」「相談はしたが、その場しのぎの対応で解決には至らない」「田布施で子育てを続けていく不安」といった話です。

住宅地の拡大、婚活イベント、子ども家庭センター設置も良いですが、それだけでは不十分な気がします。現状の不安を解消できるような仕組み作りが必要だと思えます。学校と保護者だけでは解決できない問題もあり、そういった場合に行政が寄り添い解決へ導いてくれる、安心して頼れる窓口が田布施にはないと感じています。「子育てがしやすい仕組みづくり」に期待します。

## ◇地震対策について

平田 満雄

令和6年は、元日16時過ぎの能登半島地震の発生に続いて、翌2日夕方には、羽田空港滑走路で日航機と海保機の衝突炎上事故が発生するという波乱の幕開けでした。

特に、能登半島地震では、死者が241人に達した上に多くの住宅が倒壊するなど、甚大な被害が発生しました。避難所の衛生環境の悪さや道路・水道の復旧の遅れを目にして、被災者の気持ちと思うと胸が痛みます。

今後30年以内の発生確率が70〜80%といわれる南海トラフ地震が発生した場合、田布施町は震度6前後の揺れになると想定されており、どんな被害が出るのか予想がつきません。しかし、万一に備えて我々住民は食料や飲料水の備蓄、住宅の耐震化など、できる範囲の備えを進めるとともに、町にも避難所となる建物の改築や物資の備蓄などに取り組んでほしいと思います。

◆お礼◆  
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙の中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

## ◇議会だよりを読んで

坂本 洋子

議会だよりのモニターを人助けと引き受け、一回目が掲載され、その後、一度も「モニター載ってたね。」と声をかけて下さる人もいず、読んでいる人がいるのか？とすぐ疑問に思いました。

一部のファンもおられると思いますが、もう少し文字数を少なくして、見やすい紙面にすれば目を通す人も増えるかも…。

岡山県総社市に住んでいますが、どうだったか？もう少し見やすいものだったと思う。



上関町中間貯蔵施設説明

1月31日(水) 田布施町保健センターで、中国電力(株)主催による上関町の中間貯蔵施設についての説明があり、12名の議員が参加しました。施設の概要を伝える映像や資料の説明が行われ、安全性の問題や移住定住への風評被害の懸念などの質問がありました。



議会タブレット先進地視察

2月6日(火) 周防大島町へ議会タブレット導入に向けての視察研修に行きました。運用の方法や問題点、実機を使用した説明を受

けました。



山口県町議会議員研修

2月20日(火) 山口市のセントコア山口で開催された、山口県町議会議員研修会に参加しました。内容は「町村議会の課題」で、全国町村議会議長会事務総長の赤松俊彦氏より講義を受けました。



議員の活動報告(1月~3月)

- |      |   |      |   |
|------|---|------|---|
| 1月3日 | 令和6年田布施町二十歳のつどい (議長・西本)                                       | 20日  | 2月定例会 (議長)  |
| 5日   | 山口県知事村岡副政氏及び山口県議会議長柳居俊学氏への新年挨拶 (議長)                           |      | 山口県離島振興市町議会議長会定例会 (議長)<br>令和5年度山口県町議会議員研修会外<br>(議長・谷村・河内・松田・西本・國本・伊村・内山・落合・神田・高月) |
| 7日   | 消防出初式 (議長・西本)   | 22日  | 柳井地域水道事業経営統合の説明会 (議長)<br>第30回 高齢者のつどい (議長)  |
| 11日  | 周東環境衛生組合議会臨時会 (瀬石・神田)   | 28日  | 令和6年柳井地域広域水道企業団議会<br>第1回定例会 (落合)  |
| 12日  | 商工会新春互例会 (全議員)  | 3月1日 | 山口県立田布施農工高等学校令和5年度卒業証書授与式 (議長)  |
| 19日  | 熊毛郡町議会議長会定例会 (議長)   | 8日   | 田布施町立田布施中学校第66回卒業証書授与式<br>(議長・西本・河内・瀬石・國本・高月)                                     |
| 30日  | 柳井地域水道事業の経営統合調印式 (議長)   | 26日  | 令和6年第1回熊南総合事務組合議会<br>(谷村・瀬石・高月)<br>田布施・平生水道企業団議会 (國本・落合・内山)                       |
| 31日  | 上関町中間貯蔵施設について (全議員)   |      |   |
| 2月6日 | 議会タブレット先進地視察<br>(議長・谷村・瀬石・高月・内山)                              |      |   |
| 9日   | 全国離島振興市町村議会議長会令和5年度<br>第2回総会 (議長)<br>令和5年度第3回離島振興に関する研修会 (議長) |      |   |
| 14日  | 令和5年第4回光地区消防組合議会定例会 (西本)                                      |      |   |
| 16日  | 令和6年周東環境衛生組合議会定例会 (瀬石・神田)                                     |      |   |

議会だよりモニターを募集します

議会だよりについて意見や要望をいただき、その充実を図るため、議会だよりモニターを募集します。

◇内容  
議会だよりを読んでの感想を、1年に2回お寄せいただきます。

◇応募資格  
議員または公務員以外で、町内在住の満18歳以上の方

◇募集人数(地域別)  
城南1人、東田布施1人、麻郷1人、麻里府1人

◇任期(2年間)  
令和6年6月1日から令和8年5月末まで

◇応募期限 5月24日(金)

◇応募・問合せ先  
議会事務局 ☎52・5800



昨年のモニター懇話会の様子

# 議員リレー随筆

## 田布施のお大師山

伊村 渉



国道188号麻郷戎ケ下の峠に「お大師山」がある。お堂から山の頂上へ向かって、又頂上から下のお堂に向かつて、一番から八十八番までの、お地藏様が祀

られていた。お地藏様に祀られた人の名前と「田布施村」「麻郷村」「麻里府村」「平生村」の住所が刻んである。長い年月、先人の方々がお世話をされ、現在に至って受け継がれている。毎月21日にはお接待が配られ、高齢者の方々でお世話をされておられる姿に、心より感謝申し上げます。私も微力ながら体力作業に協力させて頂きます。

## 変遷

内山 昌晃



リレー随筆の執筆順は、いわゆる出席番号順だ。私は小学から高校までは常に3番以内。大学になると15番に急降下し驚いた記憶がある。先日、中学校の卒業式に参列。卒業名簿は男女混合の出席番号順であった。ジェンダーレス、世の中の変遷をつくづくと感じてしまった。変遷といえは「まらハラ」という新たな言葉が注目されている。ライン等のやりとりで文末に句読点を付けると冷たさや威圧的な感じを受けるらしい。本来は丁寧な意味で使うものはずが、時代の流れ、世代間ギャップ。頭を柔らかくして適応していかなくては。

### 発見!クイズたぶせ?

三択クイズです。2問お答えください。

#### 問1

6年度予算で、自主財源の構成割合は何%でしょうか。

- ① 32.7%
- ② 42.7%
- ③ 52.7%

#### 問2

AEDの3カ所の更新場所は、保健センターと麻郷公民館と、あと1カ所はどこでしょうか。

- ① 図書館
- ② 西田布施公民館
- ③ スポーツセンター第1



#### ヒント

答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください!

#### 応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

- 宛先 〒742-1592 山口県熊毛郡田布施町 大字下田布施3440-1 田布施町議会事務局 宛
  - 応募締め切り 令和6年5月31日(金)
  - Eメールからもご応募できます [gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp](mailto:gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp)
- 正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。
- なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

※前号の正解は 問1 ③7万円 問2 ②4カ所 でした。

### 編集後記

3月議会は、6年度予算審査があり、議員には、町政をチェックする一番大切な議会ともいえる。予算書と付随する資料だけでなく、5年度当初予算とも見比べて質問を用意する必要があります。

予算中、一番のヒットは、子育て世帯に配慮した給食費の無償化である。

しかし、高齢者や障がい者が第一避難所として安全に避難できる新麻里府公民館の建設については、センドンの木を巡り、合意事項の建設場所の移動だけでなく、木の高さも二転三転したのは、その手法も含めて地区内にしこりを残さない。

センドンより人命第一に。(國本)

- 議会広報委員会
- 委員長 高月 義夫
  - 副委員長 河内 賀寿
  - 委員 谷村 善彦
  - 委員 國本 悦郎
  - 委員 内山 昌晃
  - 委員 落合 祥二

